



[P12] 市民によるデジタルアーカイブの構築と行政の役割：
東大和市デジタルアーカイブの事例から

東京大学大学院 時実 象一
東京大学文書館 宮本 隆史
東大和市中心公民館 富田 泰之



東大和市

- 東京都の西北に位置



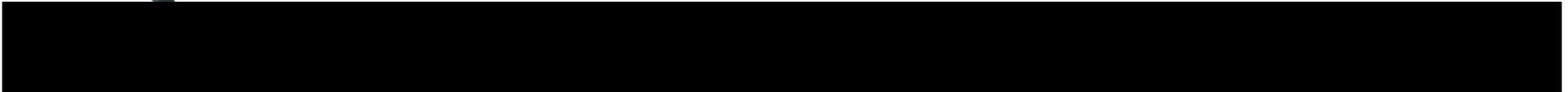
様々なコミュニティ活動

- どっとネットの会
 - 独自のブログを運営、地域の活動を発信
- 古文書を読む会
 - 蔵敷村の名主内野家に伝わる「里正日誌」を
解読し、翻刻する
- 東大和市史編さん (2000年発行)
 - 協力者グループ
- 観光ガイドの会



デジタルアーカイブの試み

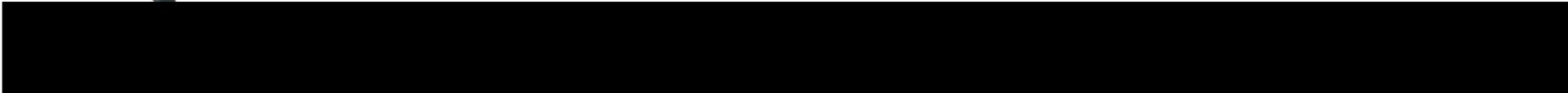
- 中央公民館が主導
- 市が支援するが、構築・維持・管理は市民グループに任せる
- 筆者らが支援



研修会

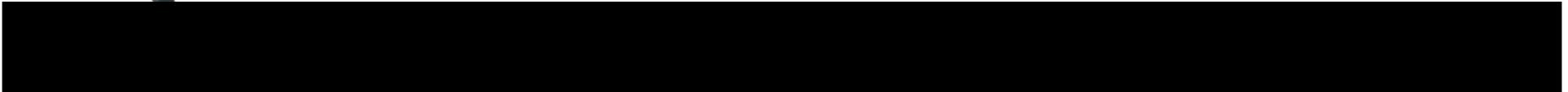
- まず希望者を集めて研修 (2019年1-2月)

1月12日(土)	デジタルアーカイブとは	デジタルアーカイブとは メタデータとは	
1月19日(土)	文書のデジタル化とOCR	スキャナの使い方 PDFの作り方	
		OCRのやり方	Google Docの使い方 書籍ページのスキャン OCR (Google Driveを使用)
1月26日(土)	写真のデジタル化	写真のスキャンの仕方	写真のスキャン
		YouTubeでの動画の公開	YouTubeでの動画公開 (デモ)
2月16日(土)	プラットフォームとネットワーク	OMEKAの使い方	OMEKAによるコンテンツの公開
2月23日(土)	公開にあたっての注意	公開に必要な知識 著作権やその他の権利	
			OMEKAによるコンテンツの公開



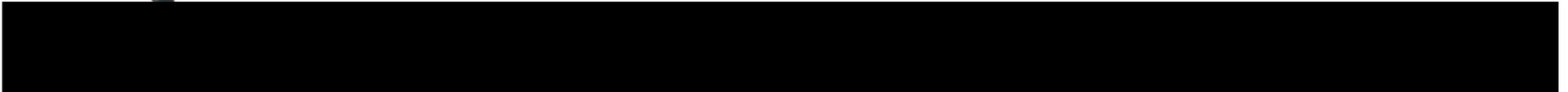
参加者のリテラシー

- 全14名のうち、2名を除き退職者
 - SNS 経験者 (どっとネットの会) 3名
 - スカイプで外国人に日本語教育 1名
 - テキストのデジタル化をやった 1名
 - 企業でコンピュータ経験 3名
 - その他 7名



実習

- まず、市史をばらしてスキャン
- Google Drive の OCR 機能を利用してテキスト化
- 写真をデジタル化開始
- ビデオのデータ化開始



今後の方向

- 推進グループを結成
 - サーバ利用料金を分担
- OMEKA で写真データ入力
 - 「おとなの社会科公開講座」から
- 将来は
 - Wikimedia Commons 利用
 - ウィキペディアタウンも

